

7月の中小企業月次景況調査

〔令和2年7月末現在〕

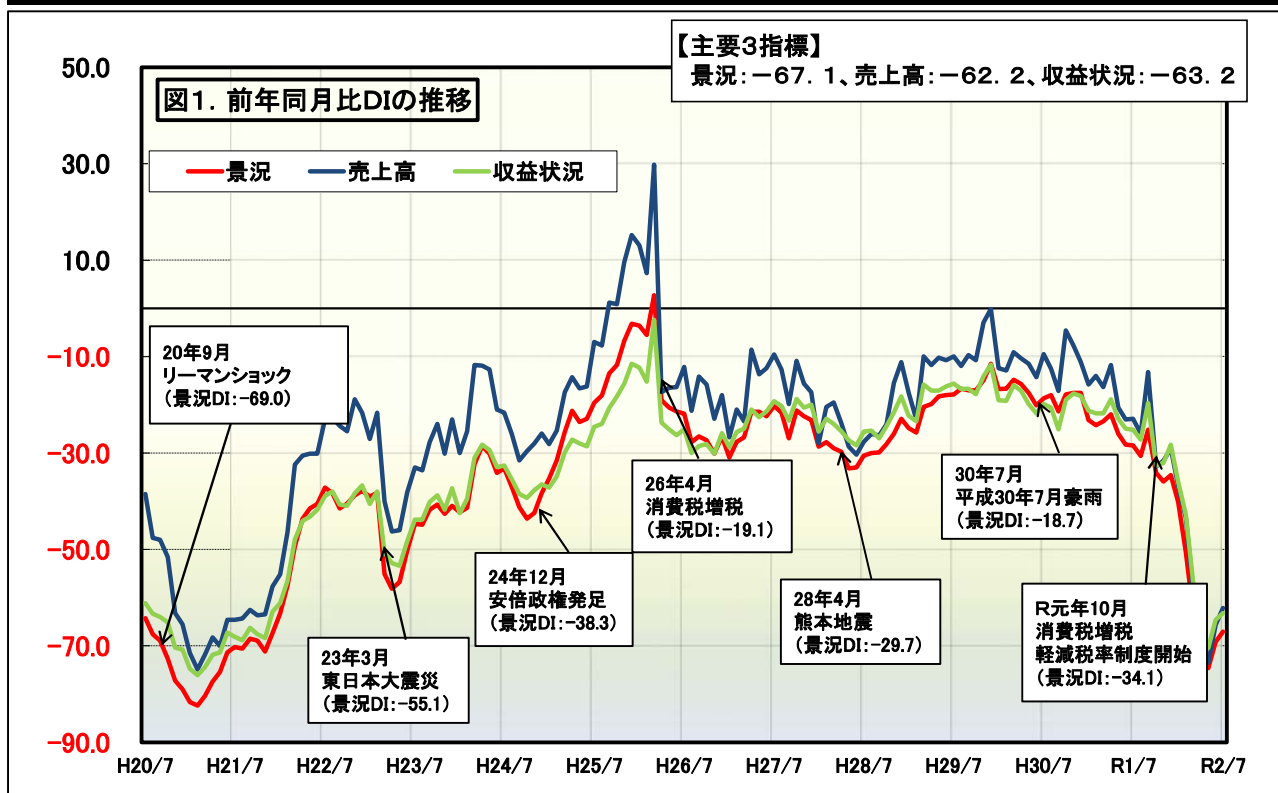


全国中小企業団体中央会
National Federation of Small Business Associations

令和2年8月25日発表

◎7月のDIは全9指標中、8指標が改善。

- 新型コロナウイルスの発生により、2月以降、DIは大きく悪化していたが、緊急事態宣言の解除による経済活動の再開により、6月以降上向き傾向が見られる。各種補助金や緊急融資の効果、各地域での独自の対策やキャンペーンによる効果が聞こえてきている。
- ただし、DI数値は引き続き停滞しており、足元の感染者が増加していることから、再び経済活動が停滞する懸念もある。
- 業種を問わず、新型コロナウイルスの影響が長引くにつれ、経営が圧迫され、先行きを不安視している声も増えている。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,600名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

(本発表資料のお問い合わせ先)

全国中小企業団体中央会

担当：政策推進部

TEL 03-3523-4902

<https://www.chuokai.or.jp>

7月の調査結果のD I 概況

【指標D Iの動向とポイント】

- 7月のD Iは、全9指標中、8指標が改善。主要3指標は、景況2.1ポイント改善、売上高3.5ポイント改善、収益状況1.4ポイント改善した。
- 各D Iは、概ね4月の緊急事態宣言発出前の水準まで戻す結果となった。
主要3指標以外では資金繰りD Iや設備操業度D Iは上向いている。一方で販売価格や在庫数量は横ばい推移となっている。
- 新型コロナウイルスの拡がりは収束が見えていないため、先行きへの対応の不安や見通しがつかないという心配のコメントが多く寄せられている。

全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）

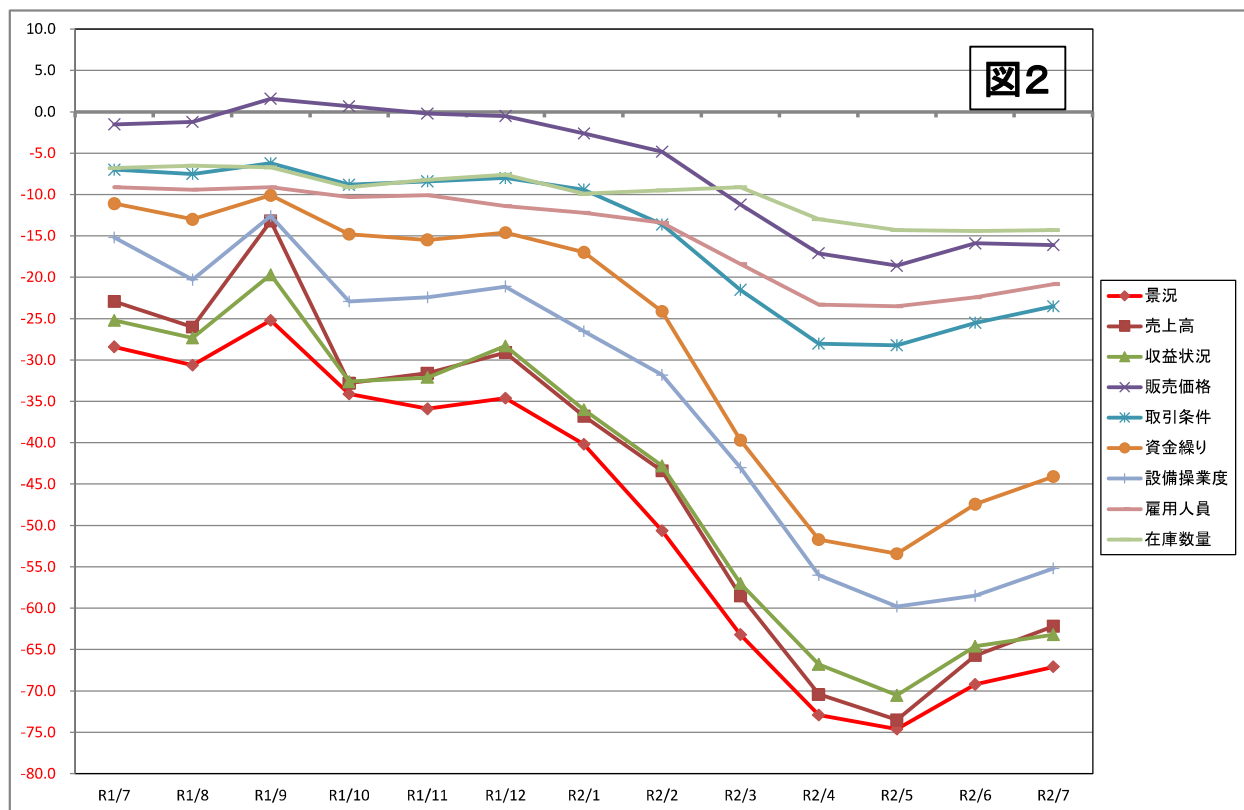


表1	R1						R2							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比
景 況	-28.4	-30.6	-25.2	-34.1	-35.9	-34.6	-40.2	-50.6	-63.2	-72.9	-74.6	-69.2	-67.1	2.1
売 上 高	-22.9	-26.0	-13.2	-32.8	-31.6	-29.1	-36.8	-43.4	-58.5	-70.4	-73.5	-65.7	-62.2	3.5
収益状況	-25.2	-27.3	-19.7	-32.6	-32.1	-28.3	-36.0	-42.8	-57.0	-66.8	-70.5	-64.6	-63.2	1.4
販売価格	-1.5	-1.2	1.6	0.7	-0.2	-28.3	-2.6	-4.8	-11.2	-17.1	-18.6	-15.9	-16.1	-0.2
取引条件	-7.0	-7.5	-6.2	-8.8	-8.4	-8.0	-9.4	-13.6	-21.5	-28.0	-28.2	-25.5	-23.5	2.0
資金繰り	-11.1	-13.0	-10.1	-14.8	-15.5	-14.6	-17.0	-24.1	-39.7	-51.7	-53.4	-47.4	-44.1	3.3
設備操業度	-15.2	-20.3	-12.6	-22.9	-22.4	-21.1	-26.5	-31.8	-43.0	-56.0	-59.8	-58.5	-55.2	3.3
雇用人員	-9.1	-9.4	-9.1	-10.3	-10.1	-11.4	-12.2	-13.4	-18.4	-23.3	-23.5	-22.4	-20.8	1.6
在庫数量	-6.8	-6.5	-6.7	-9.1	-8.2	-7.6	-9.9	-9.5	-9.1	-13.0	-14.3	-14.4	-14.3	0.1

【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 全9指標中、8指標が改善。
2. 経済活動が再開され、上向き傾向とはいえ、大きく改善しているというコメントは少なく、先行きの見通しを不安視するコメントも多い。一方で地域や業界ごとの取組みや新たな生活様式での対応も報告されている。
3. 外出自粛等で営業活動や展示会が中断されていたため、先行きの受注を確保できていないという報告も増加している。流通在庫の高止まりや引き続き製造業を中心に大企業やサプライチェーンの生産抑制・停滞による影響を大きく受けているという、中小企業者の声も引き続き多い。

《主な報告内容》

◇新型コロナウイルス環境下における新しい取り組み・工夫

- ・新型コロナウイルスの影響で全体的に荷動きが悪い。軽印刷の企業が製作したシールド製品もまだ売れ行きが良くない。差別化できる商品の提案を行っている。（熊本県／鉄鋼・金属）
- ・人出も増えたため、小売の売上は平年並みに回復した。「県宿泊者特典クーポン」の利用者は額面以上の買い物をする人が多く、消費刺激策として成功しているようだ。（福島県／漆器）
- ・夏の大型イベントが次々と中止となり、テレワークが拡大・定着し、昼の人出は減少している。物販は近々開始される仙台市中心部商店街割増商品券による売上増に期待している。（宮城県／商店街）
- ・新北海道スタイルのポスターを作成し各浴場に掲示した。今後も営業者・利用者の安全及び健康管理に十分留意し営業を続けていくことが必要と感じている。（北海道／公衆浴場）
- ・6月は休業していたホテル・旅館も7月から通常営業となり、宿泊客に安心して利用してもらえるように「やまなしグリーンゾーン」の認証を申請する等、ホテル・旅館ごとに感染防止対策に力を入れている。（山梨県／宿泊業）
- ・業界ではテレワーク等により行動変容が起こり、発注者による製品の受入検査は、従来は工場に来て書類のチェックや製品検査など実地であったが、Webを活用しリモートで行われるなどの変化がみられる。（埼玉県／鉄骨工事業）
- ・大手は来客予約制とオンライン接客を導入している。市場環境が大きく変わり、非対面での接客が多くなり、地場の不動産会社はIT化が遅れており、IT化に対応できる人材育成が急務になっている。（神奈川県／不動産）

◇新型コロナウイルスの業況への影響

- ・生産量は例年に比べかなり落ち込んでいる。また、大手アパレルが来春夏商品は在庫で対応する方針を打ち出しているため、生産量の大幅な減少が予想される。（群馬県／繊維製品製造業）
- ・組合は例年通り資材の展示即売会を予定したが、今後の感染状況によっては、会場が借りられないのではと心配をしている。（長野県／一般製材業）
- ・製紙メーカーの製品在庫は多く、古紙の発注量を抑制しており、需給は低位で推移している。今後も古紙の需給は弱含む公算が高い。（大阪府／古紙収集加工業）
- ・本格的な生産活動の開始には至っていない。会社に出向いて担当者や直接面談ができず、リモートでの会議（打合せ）により製品の加工等の指示があるため、少ロット、短納期での受注が増加している。（埼玉県／一般機械機器製造業）
- ・持続化給付金、雇用調整助成金等を活用して凌いでいるが、10月以降も延長が必要との意見が聞かれた。対前年40～45%減で対象とならない事業所もあり、数%の差で対象外となることに困惑している。（沖縄県／各種製品卸売業）
- ・新型コロナウイルス第二波と見られる影響で再び乗客が減少している。収入が不安定であるため、若い乗務員の退職者が増えてきている。（山梨県／道路旅客運送業）

※後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告（要旨）」等も参照。

1. 景 況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 69.2	▲ 67.1	2.1	上昇	↗
製造業	▲ 74.7	▲ 73.0	1.7	上昇	↗
非製造業	▲ 65.1	▲ 62.7	2.4	上昇	↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	その他の製造業			
	5～10ポイント	繊維工業、鉄鋼・金属、一般機器、その他の非製造業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	紙・紙加工品			

表2. 業種別【景 況】D Iの推移（前年同月比）

業 種 名	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	前月比
全 体	-28.4	-30.6	-25.2	-34.1	-35.9	-34.6	-40.2	-50.6	-63.2	-72.9	-74.6	-69.2	-67.1	2.1
製 造 業	-33.0	-36.0	-31.2	-35.2	-40.2	-39.8	-43.4	-52.4	-65.3	-74.6	-78.0	-74.7	-73.0	1.7
食料品	-34.7	-31.5	-35.8	-33.5	-35.5	-29.0	-37.8	-52.2	-70.1	-76.1	-78.9	-69.0	-69.8	-0.8
繊維工業	-44.9	-48.0	-43.6	-47.2	-56.1	-55.9	-58.7	-67.0	-75.8	-86.6	-90.0	-90.9	-85.8	5.1
木材・木製品	-23.5	-24.8	-20.0	-32.5	-38.0	-45.1	-42.4	-51.3	-70.1	-76.8	-79.6	-73.9	-73.5	0.4
紙・紙加工品	-35.0	-50.0	-9.5	-20.9	-39.1	-29.2	-43.5	-58.3	-59.1	-70.8	-74.0	-75.0	-84.2	-9.2
印刷	-50.0	-53.2	-30.6	-40.3	-41.9	-42.7	-47.6	-50.0	-75.0	-90.2	-93.6	-93.5	-94.9	-1.4
化学・ゴム	-35.7	-34.5	-40.0	-44.9	-48.3	-42.8	-55.2	-58.6	-69.0	-69.0	-71.4	-63.4	-66.7	-3.3
窯業・土石製品	-20.5	-28.5	-19.9	-18.9	-24.1	-22.6	-23.9	-26.2	-38.2	-46.6	-47.4	-44.4	-46.5	-2.1
鉄鋼・金属	-31.7	-36.7	-37.7	-38.9	-40.5	-43.5	-43.8	-54.3	-64.8	-81.9	-87.0	-83.7	-77.5	6.2
一般機器	-36.3	-42.3	-38.9	-42.8	-48.2	-52.7	-52.6	-61.4	-67.5	-75.2	-79.1	-80.9	-73.5	7.4
電気機器	-20.0	-38.0	-16.1	-34.5	-31.0	-21.4	-35.7	-46.4	-67.9	-66.7	-75.0	-71.4	-71.4	0.0
輸送機器	-23.8	-28.6	-29.2	-38.1	-42.9	-42.9	-46.3	-47.6	-66.7	-73.2	-81.0	-83.3	-81.6	1.7
その他の製造業	-39.6	-33.3	-19.7	-28.9	-44.4	-44.4	-49.0	-66.6	-64.1	-78.9	-82.4	-84.0	-70.0	14.0
非 製 造 業	-24.9	-26.4	-20.7	-33.1	-32.6	-30.7	-37.8	-49.3	-61.6	-71.8	-72.1	-65.1	-62.7	2.4
卸 売 業	-35.4	-39.5	-40.5	-47.9	-45.2	-43.2	-53.2	-63.7	-73.2	-81.7	-82.7	-78.1	-75.4	2.7
小 売 業	-36.2	-37.3	-22.1	-44.7	-48.4	-39.4	-47.3	-59.4	-73.0	-78.2	-73.4	-61.9	-62.4	-0.5
商 店 街	-38.9	-38.8	-30.6	-47.2	-39.3	-37.5	-52.1	-64.8	-79.6	-86.2	-83.6	-76.4	-73.3	3.1
サ ー ビ ス 業	-13.8	-17.9	-13.1	-26.7	-23.6	-25.9	-31.6	-45.2	-57.8	-70.5	-74.2	-68.7	-63.9	4.8
建 設 業	-5.0	-2.9	-3.3	-4.6	-7.0	-6.2	-7.9	-14.8	-25.0	-42.3	-46.6	-39.0	-36.2	2.8
運 輸 業	-23.9	-26.4	-23.3	-32.5	-32.6	-39.1	-43.4	-57.0	-72.1	-82.2	-84.4	-83.2	-81.3	1.9
その他の非製造業	-11.6	-10.7	-3.7	-10.7	-13.8	-10.7	-13.8	-27.6	-30.0	-50.0	-50.0	-40.7	-33.3	7.4

Pick up!

「一般機器」：全般的には低迷しているが、前月よりは経済活動が動き出し、一部の業界で回復傾向等の声も聞かれ、景況D Iは前月比7.4ポイント改善。

「サービス業」：各地域で独自の対策やキャンペーン実施や、GoToトラベルにより観光等の動きは少し改善され、景況D Iは前月比4.8ポイント改善。

2. 売 上 高

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 65.7	▲ 62.2	3.5	上昇	↗
製造業	▲ 72.5	▲ 68.5	4.0	上昇	↗
非製造業	▲ 60.4	▲ 57.3	3.1	上昇	↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	紙・紙加工品、電気機器、その他の製造業			
	5～10ポイント	食料品、一般機器、輸送機器、運輸業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	化学・ゴム			
	5～10ポイント	なし			

表3. 業種別【売上高】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	前月比
全 体	-22.9	-26.0	-13.2	-32.8	-31.6	-29.1	-36.8	-43.4	-58.5	-70.4	-73.5	-65.7	-62.2	3.5
製 造 業	-22.1	-29.5	-17.1	-31.3	-33.9	-32.8	-38.5	-43.7	-58.7	-69.6	-76.9	-72.5	-68.5	4.0
食料品	-28.1	-24.0	-23.9	-23.5	-26.0	-21.0	-35.8	-47.7	-67.6	-80.1	-81.4	-70.9	-62.9	8.0
繊維工業	-36.2	-41.7	-27.0	-42.5	-53.9	-48.8	-58.7	-56.1	-75.0	-85.9	-86.6	-83.5	-84.0	-0.5
木材・木製品	-5.2	-17.7	-10.5	-44.8	-27.4	-38.1	-42.5	-39.0	-60.7	-75.9	-84.1	-73.0	-70.6	2.4
紙・紙加工品	-30.0	-45.0	0.0	-4.2	-26.1	-50.0	-21.8	-37.5	-45.4	-70.9	-65.2	-83.3	-68.4	14.9
印刷	-32.3	-33.9	3.2	-29.0	-40.3	-31.1	-34.4	-43.3	-71.6	-90.2	-88.7	-93.5	-94.9	-1.4
化学・ゴム	-17.8	-20.7	-3.3	-34.5	-38.0	-35.7	-34.5	-41.4	-31.0	-31.0	-64.3	-53.3	-70.4	-17.1
窯業・土石製品	-8.1	-35.0	-5.9	-22.7	-24.1	-16.8	-18.7	-19.0	-40.4	-44.4	-54.0	-51.1	-52.0	-0.9
鉄鋼・金属	-23.7	-25.9	-25.3	-30.2	-38.3	-37.7	-40.2	-49.3	-58.3	-71.0	-84.1	-79.2	-74.4	4.8
一般機器	-17.7	-33.3	-24.8	-36.4	-34.8	-42.0	-43.0	-49.1	-56.2	-70.6	-76.4	-73.1	-66.4	6.7
電気機器	-20.0	-24.1	-3.2	-24.1	-20.7	-14.3	-25.0	-32.1	-50.0	-37.1	-71.5	-67.9	-42.8	25.1
輸送機器	-16.7	-23.9	-29.3	-33.3	-45.2	-40.5	-29.2	-40.5	-47.6	-41.4	-57.2	-57.2	-50.0	7.2
その他の製造業	-32.1	-31.4	-19.6	-40.4	-42.6	-35.2	-54.9	-61.1	-58.5	-76.9	-80.4	-86.0	-66.0	20.0
非 製 造 業	-23.6	-23.2	-10.3	-33.9	-29.7	-26.3	-35.5	-43.2	-58.4	-71.0	-71.0	-60.4	-57.3	3.1
卸 売 業	-36.3	-41.4	-24.4	-45.5	-39.6	-40.4	-53.7	-57.7	-65.3	-75.5	-70.2	-64.6	-66.7	-2.1
小 売 業	-40.6	-36.1	-9.7	-54.7	-45.7	-36.0	-47.9	-49.7	-69.8	-75.1	-70.1	-52.9	-48.8	4.1
商 店 街	-32.1	-24.4	-10.0	-44.7	-41.1	-30.0	-43.6	-59.8	-78.4	-85.6	-85.5	-73.9	-74.6	-0.7
サ ー ビ ス 業	-6.8	-10.9	-2.5	-29.2	-19.4	-23.1	-22.3	-38.1	-60.0	-74.0	-78.5	-69.5	-64.9	4.6
建 設 業	-5.8	-4.5	-5.4	0.9	-8.3	-2.5	-7.5	-12.4	-16.9	-45.3	-47.0	-37.8	-34.5	3.3
運 輸 業	-21.5	-24.1	-18.6	-28.7	-26.4	-34.4	-48.8	-58.6	-71.3	-82.1	-85.2	-82.5	-76.4	6.1
その他の非製造業	0.0	-3.6	11.1	3.6	3.5	21.5	-10.3	-6.9	-30.0	-39.3	-64.3	-40.8	-40.7	0.1

Pick up!

「電気機器」：外出自粛や在宅勤務の継続により、冷蔵庫やパソコン等の需要が堅調に推移している。売上高DIは前月比25.1ポイント改善。

「食料品」：中食需要、学校給食の再開、ホテルや観光業者への納品が可能になったことにより、売上高DIは前月比8.0ポイント改善。

3. 収益状況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 64.6	▲ 63.2	1.4	上昇	↗
製造業	▲ 70.3	▲ 66.8	3.5	上昇	↗
非製造業	▲ 60.4	▲ 60.3	0.1	上昇	↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	その他の製造業			
	5～10ポイント	食料品、木材・木製品、一般機器、電気機器			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	卸売業			

表4. 業種別【収益状況】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	前月比
全 体	-25.2	-27.3	-19.7	-32.6	-32.1	-28.3	-36.0	-42.8	-57.0	-66.8	-70.5	-64.6	-63.2	1.4
製 造 業	-26.6	-30.9	-24.5	-31.1	-35.6	-31.0	-37.1	-41.4	-56.5	-65.6	-73.2	-70.3	-66.8	3.5
食料品	-35.7	-30.5	-31.8	-27.5	-35.0	-24.0	-34.8	-41.8	-66.7	-73.6	-80.4	-71.3	-62.9	8.4
繊維工業	-38.5	-42.6	-40.4	-42.5	-50.8	-45.7	-48.4	-50.0	-68.6	-83.3	-90.8	-83.4	-84.1	-0.7
木材・木製品	-16.6	-26.5	-16.5	-31.6	-38.1	-34.5	-39.8	-46.0	-60.7	-69.6	-72.5	-73.9	-66.7	7.2
紙・紙加工品	-45.0	-50.0	-4.8	-8.4	-26.1	-25.0	-43.5	-41.6	-59.1	-66.7	-69.6	-79.1	-78.9	0.2
印刷	-42.0	-54.9	-25.8	-45.2	-40.4	-31.1	-41.0	-41.7	-66.7	-86.9	-91.9	-88.6	-93.2	-4.6
化学・ゴム	-28.5	-27.6	-36.7	-41.4	-48.3	-21.5	-34.5	-44.8	-51.8	-55.2	-64.3	-63.3	-66.7	-3.4
窯業・土石製品	-8.9	-27.0	-15.4	-17.5	-17.5	-16.1	-21.6	-19.8	-31.6	-33.9	-45.3	-38.5	-43.4	-4.9
鉄鋼・金属	-23.1	-23.0	-24.6	-28.8	-36.2	-32.6	-37.2	-43.6	-53.3	-63.7	-73.2	-75.6	-73.6	2.0
一般機器	-25.6	-29.7	-21.3	-30.0	-35.7	-40.2	-45.6	-46.5	-55.3	-65.2	-70.9	-70.4	-63.7	6.7
電気機器	-13.3	-27.6	0.0	-27.6	-10.4	-17.9	-7.1	-35.7	-46.5	-44.5	-67.9	-60.8	-53.6	7.2
輸送機器	-31.0	-35.7	-43.9	-50.0	-50.0	-47.6	-46.3	-40.4	-52.3	-58.5	-64.3	-69.0	-65.8	3.2
その他の製造業	-20.7	-13.0	-7.1	-34.6	-33.3	-31.5	-37.2	-50.0	-55.6	-69.3	-76.4	-80.0	-52.0	28.0
非 製 造 業	-24.0	-24.5	-15.9	-33.7	-29.6	-26.3	-35.1	-43.9	-57.3	-67.6	-68.6	-60.4	-60.3	0.1
卸 売 業	-32.1	-38.2	-32.8	-40.8	-39.6	-39.1	-47.6	-48.3	-63.0	-72.6	-73.0	-65.0	-70.1	-5.1
小 売 業	-38.5	-33.7	-17.5	-46.2	-43.4	-40.4	-47.3	-57.9	-66.4	-73.7	-71.0	-58.9	-59.4	-0.5
商 店 街	-32.7	-28.1	-20.6	-42.8	-37.4	-28.1	-43.6	-58.6	-77.2	-83.0	-83.6	-73.3	-70.7	2.6
サ ー ビ ス 業	-12.5	-19.0	-6.1	-33.5	-18.8	-17.4	-25.9	-41.6	-59.6	-70.1	-73.1	-65.1	-63.1	2.0
建 設 業	-7.9	-7.1	-5.3	-10.0	-11.1	-4.6	-12.1	-12.8	-22.4	-38.9	-42.1	-33.6	-35.9	-2.3
運 輸 業	-20.0	-20.9	-21.7	-29.5	-27.1	-31.2	-40.3	-50.7	-62.8	-76.7	-80.5	-81.7	-77.3	4.4
その他の非製造業	-7.7	-7.2	-3.7	-3.6	-17.2	0.0	-10.4	-17.3	-36.6	-42.9	-46.4	-48.2	-48.1	0.1

Pick up!

「木材・木製品」：先月より経済が動き出したことによる取り扱い量の改善が見られ、連動して収益状況DIは前月比7.2ポイント改善。但し、単価下落が発生しているとの声もある。

「運輸業」：自粛していた経済が先月よりは動き出したことにより、収益状況DIは前月比4.4ポイント改善。

4. 資金繰り、販売価格、取引条件、設備操業度、雇用人員、在庫数量

(1) 資金繰り	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 47.4	▲ 44.1	3.3	上昇	↗
製造業	▲ 50.7	▲ 46.1	4.6	上昇	↗
非製造業	▲ 44.7	▲ 42.7	2.0	上昇	↗
(2) 販売価格	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 15.9	▲ 16.1	▲ 0.2	悪化	↘
製造業	▲ 15.2	▲ 15.8	▲ 0.6	悪化	↘
非製造業	▲ 16.5	▲ 16.2	0.3	上昇	↗
(3) 取引条件	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 25.5	▲ 23.5	2.0	上昇	↗
製造業	▲ 24.2	▲ 21.3	2.9	上昇	↗
非製造業	▲ 26.4	▲ 25.1	1.3	上昇	↗
(4) 設備操業度	前月	当月	増減	傾向	
製造業	▲ 58.5	▲ 55.2	3.3	上昇	↗
(5) 雇用人員	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 22.4	▲ 20.8	1.6	上昇	↗
製造業	▲ 22.5	▲ 21.0	1.5	上昇	↗
非製造業	▲ 22.3	▲ 20.4	1.9	上昇	↗
(6) 在庫数量	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 14.4	▲ 14.3	0.1	上昇	↗
製造業	▲ 8.6	▲ 8.8	▲ 0.2	悪化	↘
非製造業	▲ 23.3	▲ 22.3	1.0	上昇	↗

Calendar 2020

～～ 国内外の主なトピックス（令和2年8月）～～

8月11日（火）

7月の景気ウォッチャー調査：内閣府。街角景気の現状判断指数は前月から2.3ポイント高い41.1となった。基調判断を3か月連続で上方修正。

8月12日（水）

7月の工作機械受注額：日本機械工作工業会。速報値は前年同月比31.1%減の697億円で、22か月連続で前年同月実績を下回る。

8月17日（月）

4～6月のGDP速報値：内閣府。GDP速報値は物価変動の影響を除いた実質の季節調整値で前期比7.8%、年率換算で27.8%減。戦後最大の落ち込みを記録。

8月21日（金）

7月の全国消費者物価指数：総務省。生鮮食品を除く総合指数が101.6と前年同月比横ばいだった。

8月27日（木）

7月の月例経済報告発表予定。

8月31日（月）

7月の失業率・有効求人倍率発表予定。

表5. 主要指標の業種別 D I(前年同月比)

(令和2年7月末現在)

	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
全体	-67.1	-62.2	-63.2	-16.1	-23.5	-44.1	-55.2	-20.8	-14.3
製造業	-73.0	-68.5	-66.8	-15.8	-21.3	-46.1	-55.2	-21.0	-8.8
非製造業	-62.7	-57.3	-60.3	-16.2	-25.1	-42.7		-20.4	-22.3

(製造業)

業種名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
食料品	-69.8	-62.9	-62.9	-6.9	-22.8	-47.6	-46.5	-23.3	-7.4
繊維工業	-85.8	-84.0	-84.1	-31.9	-46.0	-62.8	-69.9	-35.4	-6.2
木材・木製品	-73.5	-70.6	-66.7	-36.2	-24.5	-42.1	-44.2	-21.5	2.0
紙・紙加工品	-84.2	-68.4	-78.9	-26.3	-21.1	-42.1	-73.7	-5.3	10.5
印刷	-94.9	-94.9	-93.2	-25.4	-23.7	-61.0	-84.7	-25.4	-23.7
化学・ゴム	-66.7	-70.4	-66.7	-11.1	-11.1	-40.7	-55.6	-25.9	3.7
窯業・土石製品	-46.5	-52.0	-43.4	7.7	-4.7	-24.0	-34.1	-11.6	3.9
鉄鋼・金属	-77.5	-74.4	-73.6	-17.8	-15.5	-47.3	-62.8	-13.2	-10.9
一般機器	-73.5	-66.4	-63.7	-13.3	-12.4	-42.4	-61.9	-18.6	-11.5
電気機器	-71.4	-42.8	-53.6	-21.4	-32.1	-50.0	-46.5	-3.6	-17.8
輸送機器	-81.6	-50.0	-65.8	-21.1	-26.3	-34.2	-50.0	-29.0	-10.6
その他の製造業	-70.0	-66.0	-52.0	-18.0	-22.0	-56.0	-50.0	-28.0	-26.0

(非製造業)

業種名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
卸売業	-75.4	-66.7	-70.1	-15.5	-30.4	-41.5		-18.3	-15.0
小売業	-62.4	-48.8	-59.4	-10.2	-23.8	-41.3		-18.1	-21.1
商店街	-73.3	-74.6	-70.7	-31.3	-32.0	-59.3		-35.3	-29.3
サービス業	-63.9	-64.9	-63.1	-20.2	-29.5	-47.8		-26.9	
建設業	-36.2	-34.5	-35.9	-10.6	-14.6	-23.0		-9.7	
運輸業	-81.3	-76.4	-77.3	-17.1	-24.4	-48.8		-25.2	
	-33.3	-40.7	-48.1	-11.1	-7.4	-22.2		0.0	

表6. 主要指標の業種別景況調査総括表(前年同月比)

(令和 2年 7月 末現在)

(単位: %)

業 種	項 目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働率			雇人員			在庫数量		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
全 体		2.2	28.5	69.3	8.3	21.2	70.5	3.4	30.0	66.6	5.9	72.1	22.0	0.6	75.3	24.1	2.1	51.7	46.2	3.2	36.5	58.4	2.4	74.4	23.2	13.5	58.7	27.8
製 造 業		1.8	23.4	74.8	6.6	18.3	75.1	3.5	26.3	70.3	3.0	78.3	18.8	0.5	77.7	21.8	2.6	48.8	48.7	3.2	38.5	58.4	3.1	72.8	24.1	16.0	59.2	24.8
非 製 造 業		2.5	32.3	65.2	9.6	23.5	66.9	3.4	32.8	63.7	8.2	67.4	24.4	0.7	73.6	25.8	1.7	53.9	44.4	0.0	0.0	0.0	2.0	75.6	22.4	9.9	57.9	32.2

(製造業)

業 種	項 目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働率			雇人員			在庫数量		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
食 料 品		3.7	22.8	73.5	8.5	20.1	71.4	4.8	27.5	67.7	3.7	85.7	10.6	0.5	76.2	23.3	4.8	42.9	52.4	4.8	43.9	51.3	2.6	71.4	25.9	18.0	56.6	25.4
繊 維 工 業		0.0	14.2	85.8	1.8	12.4	85.8	0.0	15.9	84.1	0.0	68.1	31.9	0.0	54.0	46.0	0.9	35.4	63.7	0.9	28.3	70.8	1.8	61.1	37.2	21.2	51.3	27.4
木 材 ・ 木 製 品		1.0	24.5	74.5	4.9	19.6	75.5	4.9	23.5	71.6	2.0	59.8	38.2	0.0	75.5	24.5	2.0	53.9	44.1	2.9	50.0	47.1	1.0	76.5	22.5	27.5	47.1	25.5
紙 ・ 紙 加 工 品		0.0	15.8	84.2	10.5	10.5	78.9	0.0	21.1	78.9	0.0	73.7	26.3	0.0	78.9	21.1	5.3	47.4	47.4	0.0	26.3	73.7	10.5	73.7	15.8	31.6	47.4	21.1
印 刷		0.0	5.1	94.9	0.0	5.1	94.9	0.0	6.8	93.2	0.0	74.6	25.4	0.0	76.3	23.7	1.7	35.6	62.7	0.0	15.3	84.7	0.0	74.6	25.4	3.4	69.5	27.1
化 学 ・ ゴ ム		3.7	25.9	70.4	3.7	22.2	74.1	3.7	25.9	70.4	3.7	81.5	14.8	3.7	81.5	14.8	0.0	59.3	40.7	3.7	37.0	59.3	11.1	51.9	37.0	29.6	44.4	25.9
窯 業 ・ 土 石 製 品		4.7	44.2	51.2	14.7	18.6	66.7	7.0	42.6	50.4	14.7	78.3	7.0	2.3	90.7	7.0	3.1	69.8	27.1	6.2	55.5	40.3	1.6	85.3	13.2	16.3	71.3	12.4
鉄 鋼 ・ 金 属		1.6	19.4	79.1	3.1	19.4	77.5	1.6	23.3	75.2	0.0	82.2	17.8	0.0	84.5	15.5	0.8	51.2	48.1	2.3	32.6	65.1	5.4	76.0	18.6	12.4	64.3	23.3
一 般 機 器		0.0	26.5	73.5	5.3	23.0	71.7	2.7	31.0	68.4	0.9	85.0	14.2	0.9	85.8	13.3	1.8	54.0	44.2	1.8	34.5	63.7	4.4	72.6	23.0	10.6	67.3	22.1
電 気 機 器		0.0	28.6	71.4	14.3	28.6	57.1	10.7	25.0	64.3	3.6	71.4	25.0	0.0	67.9	32.1	3.6	42.9	53.6	7.1	39.3	53.6	10.7	75.0	14.3	14.3	53.6	32.1
輸 送 機 器		0.0	18.4	81.6	13.2	23.7	63.2	2.6	28.9	68.4	0.0	78.9	21.1	0.0	73.7	26.3	5.3	55.3	39.5	5.3	39.5	55.3	2.6	65.8	31.6	10.5	68.4	21.1
その他の製造業		0.0	30.0	70.0	6.0	22.0	72.0	4.0	40.0	58.0	0.0	82.0	18.0	0.0	78.0	22.0	2.0	40.0	58.0	2.0	48.0	52.0	0.0	72.0	28.0	8.0	58.0	34.0

(非製造業)

業 種	項 目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働率			雇人員			在庫数量		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
卸 売 業		1.4	21.7	76.8	11.1	11.1	77.8	4.3	21.3	74.4	11.1	62.3	26.6	1.0	67.6	31.4	3.4	51.7	44.9				1.0	79.7	19.3	13.0	58.9	28.0
小 売 業		4.2	29.2	66.6	15.1	21.1	63.9	4.5	31.6	63.9	15.4	59.0	25.6	1.8	72.6	25.6	2.4	53.9	43.7				2.1	77.7	20.2	8.4	62.0	29.5
商 店 街		2.0	22.7	75.3	2.7	20.0	77.3	1.3	26.7	72.0	2.7	63.3	34.0	0.0	68.0	32.0	0.7	39.3	60.0				0.0	64.7	35.3	8.0	54.7	37.3
サ ー ビ ス 業		0.7	34.7	64.6	5.6	23.9	70.5	2.6	31.7	65.7	3.7	72.4	23.9	0.4	69.8	29.9	2.2	47.8	50.0				1.5	70.1	28.4			
建 設 業		2.7	58.4	38.9	10.6	44.2	45.1	4.4	55.3	40.3	4.9	79.6	15.5	0.0	85.4	14.6	0.9	75.2	23.9				4.0	82.3	13.7			
運 輸 業		0.8	17.1	82.1	6.5	10.6	82.9	1.6	19.5	78.9	4.9	73.2	22.0	0.0	75.6	24.4	0.8	49.6	49.6				0.8	73.2	26.0			
その他の非製造業		3.7	59.3	37.0	7.4	44.4	48.1	0.0	51.9	48.1	7.4	74.1	18.5	0.0	92.6	7.4	0.0	77.8	22.2				7.4	85.2	7.4			

表7. 全国及び各地域別の【業界の景況・売上高・収益状況】(前年同月比)

令和 2年 7月 末現在)

〔全 国〕

項 目	業界の景況				売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変 減少	好転	不変 悪化	DI
業 種									
全 体	2.2	28.5	69.3	-67.1	8.3	21.2 70.5	3.4	30.0	66.6 -63.2
製 造 業	1.8	23.4	74.8	-73.0	6.6	18.3 75.1	3.5	26.3	70.3 -66.8
非製造業	2.5	32.3	65.2	-62.7	9.6	23.5 66.9	3.4	32.8	63.7 -60.3

〔近畿地方〕

項 目	業界の景況				売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変 減少	好転	不変 悪化	DI
業 種									
全 体	0.0	20.2	79.8	-79.8	3.1	17.9 79.0	1.2	21.0	77.8 -76.6
製 造 業	0.0	20.2	79.8	-79.8	4.8	15.3 79.8	1.6	18.5	79.8 -78.2
非製造業	0.0	20.3	79.7	-79.7	1.5	20.3 78.2	0.8	23.3	75.9 -75.1

滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県

〔北海道・東北地方〕

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

項 目	業界の景況				売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変 減少	好転	不変 悪化	DI
業 種									
全 体	3.2	34.0	62.8	-59.6	10.5	25.0 64.5	3.2	35.5	61.3 -58.1
製 造 業	3.3	30.1	66.7	-63.4	10.6	26.0 63.4	4.9	35.8	59.3 -54.4
非製造業	3.2	36.2	60.6	-57.4	10.4	24.4 65.2	2.3	35.3	62.4 -60.1

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

〔関東・甲信越地方〕

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県

項 目	業界の景況				売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変 減少	好転	不変 悪化	DI
業 種									
全 体	2.2	29.6	68.2	-66.0	7.2	23.0 69.7	4.1	30.7	65.2 -61.1
製 造 業	2.6	26.4	70.9	-68.3	6.4	20.4 73.2	4.5	28.3	67.2 -62.7
非製造業	1.9	31.9	66.2	-64.3	7.8	24.9 67.3	3.8	32.4	63.8 -60.0

徳島県、香川県、愛媛県、高知県

〔四国地方〕

項 目	業界の景況				売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変 減少	好転	不変 悪化	DI
業 種									
全 体	4.8	25.0	70.2	-65.4	6.5	20.8 72.6	3.0	31.0	66.1 -63.1
製 造 業	2.7	24.3	73.0	-70.3	2.7	20.3 77.0	2.7	28.4	68.9 -66.2
非製造業	6.4	25.5	68.1	-61.7	9.6	21.3 69.1	3.2	33.0	63.8 -60.6

〔東海・北陸地方〕

静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県

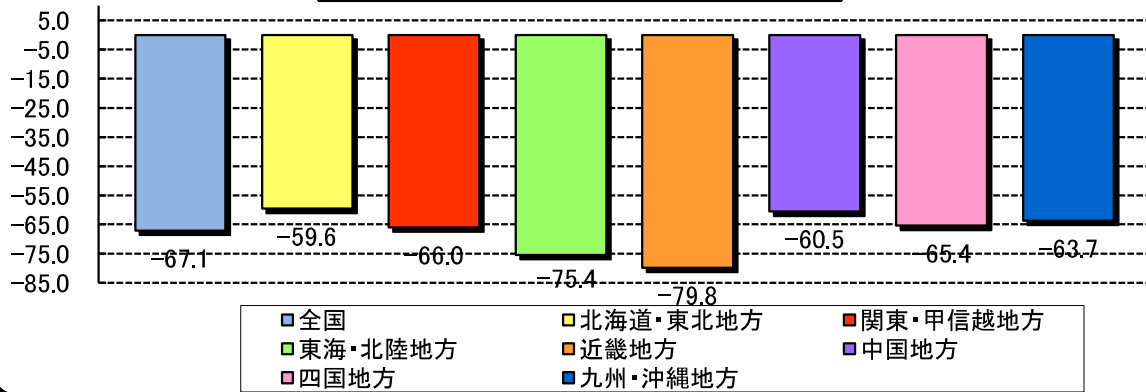
項 目	業界の景況				売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変 減少	好転	不変 悪化	DI
業 種									
全 体	1.8	21.1	77.2	-75.4	6.6	16.0 77.4	2.0	24.1	73.9 -71.9
製 造 業	1.0	13.2	85.8	-84.8	4.1	10.2 85.8	1.5	17.3	81.2 -79.7
非製造業	2.5	28.9	68.5	-66.0	9.1	21.8 69.0	2.5	31.0	66.5 -64.0

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

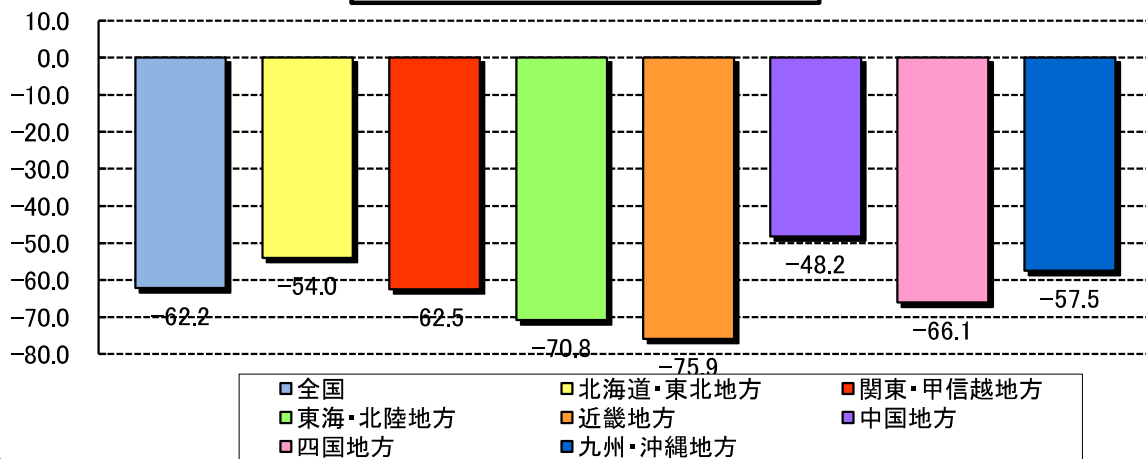
〔九州・沖縄地方〕

項 目	業界の景況				売上高		収益状況		
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変 減少	好転	不変 悪化	DI
業 種									
全 体	2.2	32.0	65.9	-63.7	10.3	22.0 67.8	4.6	32.2	63.1 -58.5
製 造 業	0.7	22.9	76.4	-75.7	6.9	16.0 77.1	3.5	25.7	70.8 -67.3
非製造業	3.1	37.8	59.1	-56.0	12.4	25.8 61.8	5.3	36.4	58.2 -52.9

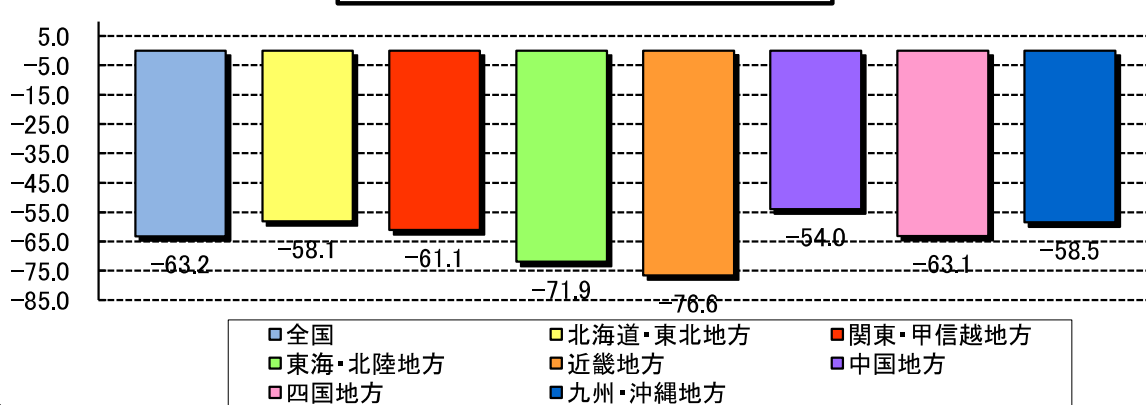
全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)】
(令和2年7月末現在・前年同月比)



全国及び各地域別の【売上高DI(全体)】
(令和2年7月末現在・前年同月比)



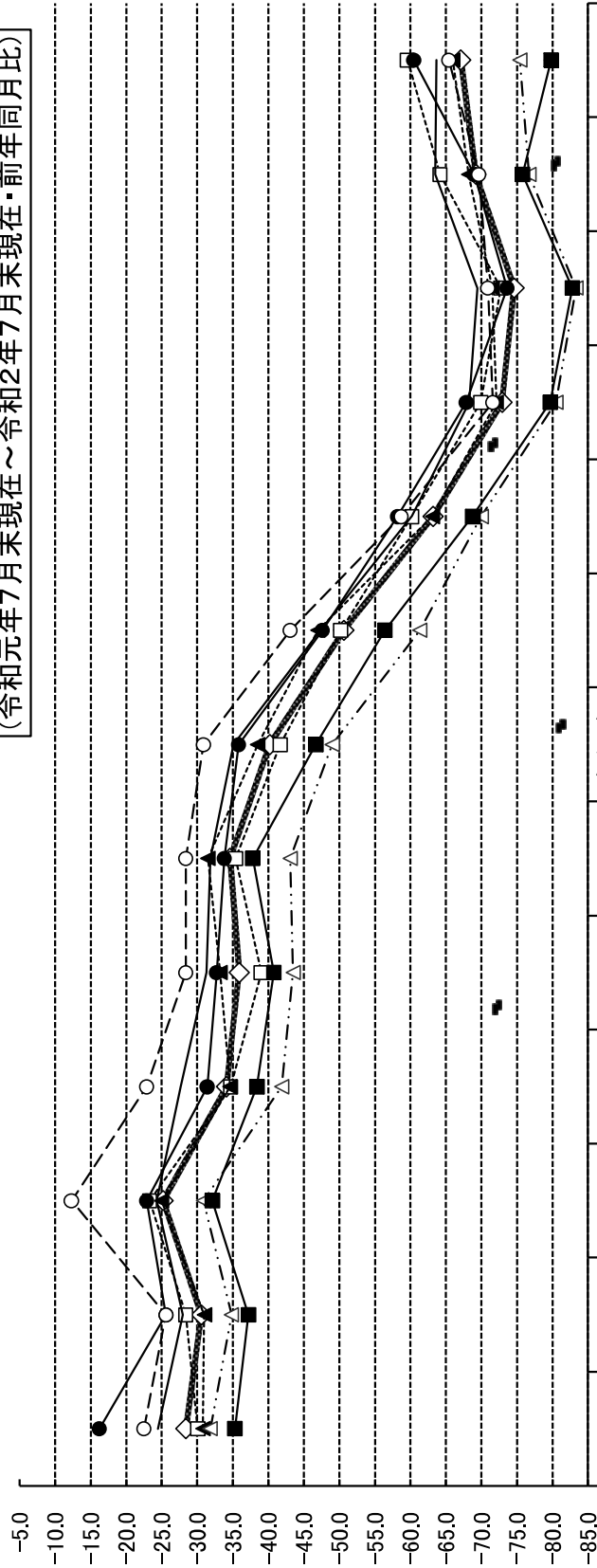
全国及び各地域別の【収益状況DI(全体)】
(令和2年7月末現在・前年同月比)



〔北海道・東北地方〕
〔関東・甲信越地方〕
〔東海・北陸地方〕
〔近畿地方〕
〔中国地方〕
〔四国地方〕
〔九州・沖縄地方〕

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県
静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県
滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
徳島県、香川県、愛媛県、高知県
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)の推移】
(令和元年7月末現在～令和2年7月末現在・前年同月比)



	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	令和2年 1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末
系列1	-28.4	-30.6	-25.2	-34.1	-35.9	-34.6	-40.2	-50.6	-63.2	-72.9	-74.6	-69.2	-67.1
系列2	-30.1	-28.4	-23.3	-34.7	-39.0	-35.4	-41.7	-50.2	-60.2	-69.9	-72.7	-64.2	-59.6
系列3	-30.8	-31.0	-25.0	-34.6	-33.2	-31.5	-38.5	-47.0	-63.1	-72.1	-71.5	-68.2	-66.0
系列4	-31.8	-34.8	-30.9	-41.9	-43.5	-43.1	-49.0	-61.3	-70.0	-80.5	-83.3	-76.7	-75.4
系列5	-35.3	-37.2	-32.1	-38.4	-40.8	-37.8	-46.7	-56.4	-68.8	-79.7	-82.8	-75.8	-79.8
系列6	-16.2	-25.6	-22.9	-31.4	-32.7	-33.8	-35.8	-47.6	-58.2	-67.9	-73.6	-69.0	-60.5
系列7	-22.5	-25.6	-12.3	-22.9	-28.4	-28.4	-30.9	-43.1	-58.7	-71.6	-70.9	-69.6	-65.4
系列8	-24.5	-28.0	-24.3	-27.7	-31.3	-31.8	-35.1	-47.3	-60.2	-68.3	-69.4	-63.5	-63.7

[北海道・東北地方(系列2)] 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 [関東・甲信越地方(系列3)] 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
 [東海・北陸地方(系列4)] 静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県
 [近畿地方(系列5)] 滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
 [中国地方(系列6)] 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 [四国地方(系列7)] 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 [九州・沖縄地方(系列8)] 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※系列1は全国の数値です。

情報連絡員からの報告（要旨）

《製造業》

食料品製造業

1. ＜ 宮城県 味噌醤油 ＞

GoTo トラベルキャンペーンにより、ホテル・観光業者への納品が可能になり、売上は僅かだが回復しつつある。新型コロナウイルス感染者が増加しているため、飲食業への納品は依然として停滞している。

2. ＜ 福島県 菓子 ＞

新型コロナウイルスの影響により人の移動が少ないため、贈答需要が低下しているが、ケーキなど家庭内での需要が伸びている。気温が例年より低いため、お菓子が動く傾向がある。

3. ＜ 千葉県 漬物製造 ＞

新型コロナウイルスの影響も減少してきており、売上も回復基調にある。また、漬物商品は、スーパー向けは好調であるが、土産向けでは大きくダウンしている。

4. ＜ 東京都 豆腐製造業 ＞

レジ袋の有料化について、対応に迷う組合員もいた。組合としてはバイオマス 25%以上を配合したレジ袋を取り扱うことにより組合員に選択の幅を広げられるようにしている。

5. ＜ 石川県 パン・菓子製造業 ＞

例年、夏場の菓子需要は落ち込む季節であるが、国の支援事業 GoTo トラベルの開始した4連休においては、久しぶりに観光地が賑わい、お土産ショップは少し回復傾向となる。

6. ＜ 奈良県 素麺 ＞

新型コロナウイルスの影響で懸念されたお中元商戦は、単品商品の巣ごもり需要から始まりギフト商品は大幅に売り上げ減を予想していたが、ネット販売などが伸長し微減の販売者が多い。

繊維・同製品製造業

7. ＜ 秋田県 繊維 ＞

秋冬物の受注状況は 50～60%となっている。今は、医療用ガウンで生産ラインを埋めている。

8. ＜ 山形県 織物製成人女子・少女服製造業 ＞

呉服関係は催事販売も徐々に増え少しずつ動きが出ているが、呉服、服地とも引き続き新型コロナウイルスの影響による衣料業界の売上減少が響き、組合員においても従業員の休業や生産調整を実施している。

9. ＜ 群馬県 その他の繊維製品製造業 ＞

サンプル作成は動き始めたが、生産量は例年に比べかなり落ち込んでいる。また、大手アパレルが来春夏商品は在庫で対応する方針を打ち出しているため、生産量の大幅な減少が

予想される。

10. < 東京都 帽子製造業 >

新型コロナウイルス感染拡大防止のための小売店の一時休業や、豪雨・長雨の影響により夏物商戦は非常に厳しい状況となった。

11. < 兵庫県 繊維・同製品製造業 >

依然として、大きく落ち込んだ状態が続いており、回復の兆しが無い。新型コロナウイルスの再拡大により、先物の商売が出来ない。再び、都市圏への出張（営業）が縮小となっている。

12. < 香川県 手袋 >

首都圏への出張・商談ができず、今冬の展開商品生産ゼロの企業もでてきた。百貨店・量販店の秋冬展開予測が立たないため、在庫商品で対応せざるを得ず大変厳しい状況が続いている。

木材・木製品製造業

13. < 岩手県 一般製材業 >

新型コロナウイルスに係る緊急事態宣言解除後も、新規住宅着工が遅れ気味になっており、この影響で製材品の出荷量が減少している。

14. < 秋田県 素材生産 >

新型コロナウイルスの影響により、一般製材、合板材工場の生産、販売量が5割減少し、素材生産業者が生産した素材が在庫として増加している。素材生産業者の資金繰りが厳しくなることが予想される。

15. < 群馬県 製材業、木製品製造業 >

製品単価の下落が止まらない。原木も値下がりしており、長雨により出荷量も減少している。

16. < 埼玉県 木材・木製品製造業 >

長雨の影響もあり原木の入りが前年同月比 30%減である。チップの出荷量については、製紙会社の定修やコロナの影響もあり、大幅な減産である。

17. < 長野県 一般製材業 >

昨年の台風19号関連の工事に係る事業所はお盆までを目途に残業をするほど忙しい。組合は例年通り資材の展示即売会を予定したが、今後の感染状況によっては、会場が借りられないのではと心配をしている。

18. < 岐阜県 家具 >

家具の催事販売が再開し、回復の兆しは見えるものの、現在の感染状況をみるとまだ不安定で、先行きが見えない状況である。生産調整に伴う休業の実施を余儀なくされている組合員もある。

紙・紙加工品製造業

19. < 愛知県 段ボール >

土産物関係では回復の差が大きく、大都市、駅周辺は回復、観光地のドライブイン等は底這い。ギフト関係は法人需要の低迷。生活品は巣ごもり需要一服。消毒液等の衛生材料関係の需要が増してきている。

20. < 大阪府 古紙収集加工業 >

印刷用紙の需要は若干上がったが古紙の発生量は落ち込んだままである。製紙メーカーの製品在庫は多く、古紙の発注量を抑制しており、需給は低位で推移している。今後も古紙の需給は弱含む公算が高い。

21. < 鳥取県 パルプ・紙・紙加工品製造業 >

消費動向、流通動向ともに、まだまだ低調である。設備操業度も例年の半分以下で推移している。

22. < 愛媛県 紙製品 >

紙業界全体は10%以上悪化しているが、伸びている企業も20%位の数がある。コロナ以前から最悪のシナリオを作成し準備していた企業は、この大変化をチャンスととらえ、大改革をし、業績を伸ばしている。

23. < 高知県 機械すき和紙製造業 >

県内家庭紙企業は、注文量が激減し、厳しい状況となっている。外出する機会が少なくなり、コンビニでのポケットティッシュ等の売れ行きが悪く、全般的に需要が落ちている。

24. < 三重県 紙器段ボール >

自動車、工業関係も先月よりは少し生産量が増加してきたがマイナス幅はまだ大きい。長梅雨の影響で農産物も減少し、段ボールケースの取り扱いも少ない。売上高は5~30%前年同月対比でマイナスである。

印刷

25. < 宮城県 印刷 >

緊急事態宣言の解除により、人の動きが戻りつつあったが、ここにきて感染者の増加により、再び見通しが立たなくなっている。イベントの相次ぐ中止が業界に与える影響は深刻である。

26. < 石川県 印刷・同関連業印刷 >

新型コロナウイルスが再び増加傾向となっているため、印刷物の発注先では勤務形態が不安定で、仕事自体の進捗が悪いこともあり、新たな需要拡大に期待できない状態が5月以降より継続している。

27. < 京都府 印刷業 >

新型コロナウイルスの拡大により、売上の減少、資機材の調達困難など、これまでにない厳しい経営環境におかれている。また、テレワークや時差出勤など従業員の感染予防の配慮にも苦慮している。

28. < 広島県 出版・印刷・同関連 >

激動の世の中において、新しい価値や今までにない仕組みを模索する必要がある。ピンチ

はチャンスと言いつけ聞かせ今できることを思案している。

29. < 徳島県 印刷 >

阿波踊り、海開き、花火大会、祭り、夏休みの行事、各種イベント等の中止に加え、第2波の影響で9月にかけての再開に待ったが、かかり製作が更に延期されたもの、中止されたものが出てきている。

30. < 宮崎県 印刷・同関連業 >

新型コロナウイルスの影響が、組合員の業績悪化に表れてきている。経済活動の縮小と新しい生活様式によって商業印刷の仕事が全くといっていいほどない。

化学・ゴム

31. < 群馬県 ゴム製品製造業 >

受注量の減少に伴い操業度が低調。回復を期待したいところだが、V字回復は望めそうにない。

32. < 長野県 プラスチック製品製造業 >

成形品および金型販売ともに昨年同期で売り上げは減少となった。以前コロナウイルスの影響が大きく自動車関連では影響が長引きそうである。今後の動向を注視していきたい。

33. < 大阪府 石鹼洗剤製造業 >

洗浄剤等全体では、販売数量・金額ともに前年同月比で下回る数字となった。新型コロナウイルス感染症対策関連商品は、需要の継続で好調を維持している一方で、対象外の商品は低調な動きとなっている。

34. < 奈良県 プラスチック >

新型コロナウイルスの影響は様々である。36協定ギリギリの上限稼働の企業がある一方、3労4休で稼働の企業もある。家庭用日用雑貨、容器は活況である。

35. < 島根県 プラスチック製品製造 >

引き続き、対象製品による受注増減の差は著しい。自動車向け部品については、来月頃から需要回復の兆しが見受けられる情報を、個々に入手している状況。

36. < 広島県 工業用ゴム製品 >

自動車の国内生産台数も前年比80～85%まで戻ってきたが、今後も同程度で数年は推移すると見ている。多くの企業が投資や採用を抑制していると思われるため、県内経済は当面厳しい状況が続くと思われる。

窯業・土石製品製造業

37. < 北海道 窯業・土石製品製造業 >

建設事業に対する休業要請はなかったが、自主的な自粛により工事延期の現場が発生しており、それに伴って価格競争の激化が懸念される。

38. < 神奈川県 砕石 >

公共事業の減少はないが、施工が遅れ傾向。加えて、民間向け生コンの稼働が落ち込んでいる。出荷は地域差が顕著な中、月前半の天候不順もあって全体売上は低調。

39. < 岐阜県 タイル >

受注の落ち込みや感染症の再流行を受け、第1波の際はさほど影響が少なかったが、今回は夏季休業を予定より長くするなど対応を図る組合員が増加している。

40. < 山口県 生コンクリート製造業 >

出荷量は、前月比 107%、前年同月比 90%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。

41. < 宮崎県 窯業・土石製品製造業 >

依然、出荷の低迷は続き、これからは地元民間企業の設備投資の見直しが徐々に増えてくる。今期も過去最低の出荷数量になる可能性が高くなり、5年先を見据えて統廃合を進めていくべき時がきている。

42. < 沖縄県 ガラス製品製造業 >

7月は客足が少し戻ってきたが、売上は前年比 60%以上の減少となった。直営店では人気の吹きガラス体験ができないため売上を伸ばせず、卸売では国際通りの土産物店の閉店や売上減少が大きく影響した。

鉄鋼・金属製造業

43. < 秋田県 機械金属 >

新型コロナウイルスにより、収益状況は悪化の一途をたどっている。先月に引き続き、見積り物件がほとんどなく、売上は5割～6割と落ち込んでいる。なかには、4割という企業もあり深刻な状況である。

44. < 福島県 鉄工業 >

先月同様工事の中止・延期が増加している。特に郡山地区の受注できる範囲の物件が少なく、元請での受注競争に巻き込まれている。この業界は遅れてから不況に突入する傾向がある。

45. < 茨城県 鍍金 >

自動車部品は6月よりは回復したが、前年同月比 30%以上売上が減少した組合員が多い。好調であった建築関連部品も受注が減少傾向にある。全体的に6月よりは上向いたが、前年同月と比べると減少している。

46. < 新潟県 鉄骨製造業 >

手持ち工事量の減少に伴い、工場の稼働率が低下している。見積件数の減少も顕著。受注価格についても低下傾向にある。秋以降の見通しが立たない状況で、先行きの不安感が増している。

47. < 徳島県 ステンレス >

感染予防対策を実施しながらの経済活動の本格化に向けて対応を実施している。海外での営業活動についても、渡航及び帰国後の隔離対応等の問題はありますが、現地の状況を確認しながら対応準備を進めている。

48. < 熊本県 異業種 >

新型コロナウイルスの影響で全体的に荷動きが悪い。軽印刷の企業が製作したシールド製品もまだ売れ行きが良くない。差別化できる商品の提案を行っている。

一般機器製造業

49. < 栃木県 一般機械器具製造業 >

売上高の減少により収益状況も悪化が続くが、一部の企業につき回復の兆しがある。資金繰り状況懸念は継続中である。新型コロナウイルスに関し今後の対応に注視。今後の政府等の支援策に期待する。

50. < 埼玉県 一般機械機器製造業 >

本格的な生産活動の開始には至っていない。会社に出向いて担当者と直接面談ができず、リモートでの会議（打合せ）により製品の加工等の指示があるため、少ロット、短納期での受注が増加している。

51. < 富山県 非金属用金型製造業 >

コロナ禍で経済活動が停滞する中、金型のような受注生産形態においては見込み生産もできず、また短納期で前倒し後ろ倒し等の生産調整もできないため、事業運営が難しい。

52. < 福井県 機械工業 >

組合員の7～8割は売上が減少している。しかし一部の組合員では4月よりも増加傾向がみられ、全体的に良い雰囲気に戻りつつある。

53. < 兵庫県 一般機器製造業 >

新型コロナウイルスの影響でこれから更に厳しい状況になると思われる。人手不足も依然続いているが、特に技能者技術者の不足は慢性的であり、若手人材は製造業に中々目を向けてくれない。

54. < 奈良県 機械 >

昨年からの資材高騰に加え、今年のコロナ禍から収益が大幅に悪化傾向。一方、産業界全般に波及効果の大きい自動車関連が回復傾向にあり、その部品関連の受注が増加に転じている企業も散見される。

電気機器製造業

55. < 群馬県 民生用電気機械器具製造業 >

新規の受注案件が少し出てきたが、県外及び公共交通機関を使つての移動を自粛しているため、既存設備のメンテナンスができず不調。

56. < 長野県 電子機械器具製造業 >

依然として新型コロナウイルスの影響で売上、受注量ともに減少している状況。自動車関連の受注が多いため、大手企業に合わせて生産調整が続く、計画休日している組合員も多い。

57. < 静岡県 電気機械器具製造業 >

外出自粛・在宅勤務継続などの生活様式の浸透により冷蔵庫の生産・販売は好調に推移している。

58. < 愛知県 配電盤 >

官公需については、大きな変化がないが、民需は将来的にかなり少なくなり、当業界もかなりの影響を受ける。特に設備投資の見送りによる影響が大きい。相当なダメージを受けることも予想される。

59. < 兵庫県 電気機器製造業 >

新型コロナウイルス感染者がまた増加傾向で、生産量の回復も目立って見通せない。年末まではこのような状況が続くと覚悟している。

60. < 広島県 電気機械器具 >

先月同様、新型コロナウイルスの影響で、国内外ともに受注が減少しており、前月比 5% 減少、前年同月比 15% 減少となった。設備投資減少の影響は大きく、また先行き不透明感も強い。

輸送用機器製造業

61. < 神奈川県 指定業者（船舶） >

政府は世界の造船市場のシェアを拡大する韓国と中国に対抗するため、自国の造船業界に大規模金融支援を実施する方針を確定。年内に実施して産業基盤を維持し、自前の海上輸送力を確保するという計画だ。

62. < 岐阜県 輸送用機器 >

令和 2 年 4 月までは対前年同月比で横ばいで推移してきたが、ボーイング社の開発の遅れに加え、新型コロナウイルスによる旅客の大幅な減少によって、需要が急激に低下、影響が 5 月より現れ始めた。

63. < 静岡県 輸送用機械器具製造業 >

四輪車は 6 月と比較すると生産量は前年度並みに回復。8 月以降も前年並みの計画に戻りつつありコロナ感染拡大により需要の下振れが起きないことを望む。ただ、二輪車は回復が遅れている。

64. < 三重県 鈴鹿 >

この数ヶ月間は本来の 3~4 割減の売上で推移しているが、9 月以降の内示数には回復の兆しが見受けられる。

65. < 島根県 自動車部分品・付属品製造業 >

7 月の売上額は前期比 30% 減となり、12 カ月連続前年同月比割れが続いている。ただ、5 月よりも売上が増え、7 月からはある程度の売上を達成していることから徐々に回復傾向にあると言える。

66. < 大分県 造船 >

中国・韓国に対し国策として国内造船事業者へ補助を行うという報道を目にした。当業界にとって朗報となった。

その他の製造業

67. < 福島県 漆器 >

百貨店ルートはほとんど動きがない。人出も増えたため、小売の売上は平年並みに回復し

た。「県宿泊者特典クーポン」の利用者は額面以上の買い物をする人が多く、消費刺激策として成功しているようだ。

68. < 東京都 スポーツ用品製造業 >

5月に底となった需要は6月に入り徐々に回復傾向にある。しかし、新型コロナウイルスの影響により、プール施設が休業している水泳関連市場については需要の減少が見込まれる。

69. < 山梨県 貴金属・宝石製品製造業 >

展示会やイベントが中止となっているため、前年同月比は▲50%減少。香港が年内の外国人の入国を禁止したため、予定していた展示会に出展が出来なくなった。年内は売り上げが回復する見込みは無い。

70. < 大阪府 プラシ製造業 >

新型コロナウイルスの拡大が止まず、インバウンドの宿泊施設関係の需要の落ち込みが大きい。また、一般の消費者の消費マインドも冷え込んでいるため、業界としては厳しい状況が続くと懸念される。

71. < 香川県 漆器 >

新型コロナウイルスの影響は7月も変わらず、各地の催事は中止で今後の見通しも立たない状態である。

72. < 福岡県 畳等生活雑貨品製造業 >

今月もコロナ感染の影響が続く最中、例年同様、大雨被害が多発し、梅雨前線が停滞し続け、また避難指示（勧告）が地域的に発令され仕事を受注しても明ける迄出来ない日々が続いた。

《非製造業》

卸売業

73. < 青森県 米麦卸売業 >

卸の米取引期限は8月末であり、例年今の時期には先が見えているが、今年の場合は、新型コロナウイルスの影響で2か月程度先伸ばしとなると予想される。

74. < 滋賀県 電気機械器具 >

6月に好調に推移していたルームエアコンの販売の勢いは、7月の天候不順によりトーンダウンしたが、前年比微増。引き続き家電品、換気設備も好調に推移。照明器具、電線等は前年より大幅減少。

75. < 岡山県 資材 >

民間の建築工事などがコロナ禍のあおりを受け、業績不振の会社及び一般住宅の新築などの工事発注延期、中止などがでてきており、半年・1年後の建築・建設業界の新規受注動向が懸念される。

76. < 佐賀県 陶磁器卸 >

前月比、111.9%、前年比、44.21%。新型コロナウイルスが再拡大し、個人消費の回復に足踏みが見られた。また、宿泊関係や外食産業の低迷により業務用食器を取り扱う商社組合員の売上にも影響が出た。

77. < 鹿児島県 水産物卸売業 >

前年同月比で数量が110.9%、販売金額が105.5%、販売単価が95.3%とやや堅調に推移した。魚類市場では県内飲食店でクラスターが発生したため、感染防止措置を実施し、業務に取り組んでいる。

78. < 沖縄県 各種商品卸売業 >

持続化給付金、雇用調整助成金等を活用して凌いでいるが、10月以降も延長が必要との意見が聞かれた。対前年40～45%減で対象とならない事業所もあり、数%の差で対象外となることに困惑している。

小売業

79. < 北海道 各種商品 >

キャッシュレス消費者還元事業が終了したことで7月の売上は更に落ち込み、最終的に7%減となった。

80. < 宮城県 青果 >

客足は戻ったが、消費者の購買意識は自粛期間中のまとめ買いから必要最低限の購入へと変化したように感じる。全国的な大雨や記録的な日照不足は、先月以上に農作物の価格を高騰させた。

81. < 神奈川県 タイヤ販売 >

今月も新型コロナウイルス感染症の影響で、業界全体としてもレジャー等が減り、タイヤ

の摩耗に影響がある。感染が長引けば、今年の冬のスタッドレスタイヤの需要減に繋がるため、先行きは不安である。

82. < 三重県 スポーツ >

6月から各学校が正常に戻り、弱いながらも野球、サッカー、陸上等、グラウンドでの競技は動いているようであるが、内向きの協議品やスポーツウェアの競技用品の動きは悪いようである。

83. < 和歌山県 時計・眼鏡・カメラ小売業 >

新型コロナウイルスにより、自宅で過ごす時間が増えたせいか、身の回りを整理して使っていない品物の修理依頼が増加している。

84. < 長崎県 青果物 販売 >

7月に入っても新型コロナ禍の影響により、前年度の売上を下回るところが続出。また、各地を襲った7月豪雨が農作物に多大な影響を及ぼし、青果物の価格も昨年を大きく上回り約150%高となっている。

商店街

85. < 北海道 商店街 >

どうみん割はあつという間になくなり、GoTo トラベルは利用者にとって分かりにくい、予約が取れないなど説明に苦慮している。各館の集客や売上の回復にはまだ時間がかかる。

86. < 宮城県 商店街 >

夏の大型イベントが次々と中止となり、テレワークが拡大・定着し、昼時の人出は減少している。物販は、近々開始される仙台市中心部商店街割増商品券による売上増に期待している。

87. < 岐阜県 商店街 >

7月は月中頃までは景況感が好転しつつあったが、中旬以降は新型コロナウイルスの再拡大を受け、振り出しに戻りつつある。現状は景気より予防策をしっかりと講じることの方が大切であるとする。

88. < 兵庫県 商店街 >

緊急事態宣言解除後、人通りも戻って来たが、売上の方は中々以前の様には戻らない。再度、感染状況が上昇傾向にあるので、感染予防を徹底して、街ぐるみで取り組む必要がある。

89. < 香川県 商店街 >

当店も近隣の同業者（衣料品小売）も早めのセールに切り替えたが反応は弱い。帰省客景気や祭礼・イベントも殆ど中止になり、景気回復も見込めず、半分休眠状態である。いつまで耐えられるか頭が痛い。

90. < 宮崎県 商店街 >

好調に回復の兆しがあったが、新型コロナウイルス感染者が発生したため、逆戻りの状態である。人出がほぼなくなり閑散とした街中である。

サービス業

91. < 北海道 公衆浴場 >

新北海道スタイルのポスターを作成し各浴場に掲示した。今後も営業者・利用者の安全及び健康管理に十分留意し営業を続けていくことが必要と感じている。

92. < 福島県 クリーニング >

梅雨の影響もあり家庭需要は低調で、7月前半には寝具類クリーニング需要も終了。新型コロナウイルスの影響で、来月以降の夏祭り衣料等の需要もほぼ無く、更に厳しくなる見込み。

93. < 栃木県 理容業 >

新型コロナウイルスの影響により、多くの店舗で来客数は減少している。消費者の不安を少しでも取り除き、ガイドラインに基づいた営業をして行くことを組合員に徹底していくことで、景気回復に努めたい。

94. < 群馬県 旅館、ホテル >

県独自の宿泊補助プランが好調で、前年度に近い入込になった。GoTo キャンペーンが始まったとはいえ、新型コロナウイルス影響により自粛する人も多く、来月以降の予約状況は悪いとの声が聞かれる。

95. < 山梨県 宿泊業 >

6月は休業していたホテル・旅館も7月から通常営業となり、宿泊客に安心して利用してもらえるように「やまなしグリーンゾーン」の認証を申請する等、ホテル・旅館ごとに感染防止対策に力を入れている。

96. < 高知県 旅行業 >

組合クーポン前年同月対比 18%、全旅クーポンを加味して 16%。GoTo トラベル事業は開始されたが、全国的な感染拡大傾向が続いており、旅行需要は依然として回復の見通しがたかない。

建設業

97. < 宮城県 硝子 >

新型コロナウイルスの影響と季節商品の網戸の需要が高まったが、供給が追いつかず、工事未完が発生している。

98. < 茨城県 総合 >

新型コロナウイルスの影響による受注減少はないが、工事における三密状態は避けられそうもなく、各社アイデアを出して努力している。現場の感染症対策を意識しながらの作業は熱中症対策と苦慮している。

99. < 埼玉県 鉄骨工事業 >

業界ではテレワーク等により行動変容が起こり、発注者による製品の受入検査は、従来は工場に来て書類のチェックや製品検査など実地であったが、Web を活用しリモートで行われるなどの変化がみられる。

100. < 岐阜県 管設備工事 >

新型コロナウイルスに気を付けながら作業を行っており、屋外工事についてはマスク着用による熱中症も懸念されるため、休息を十分に取るようにしている。

101. < 徳島県 建設業 >

新型コロナウイルス感染症対策推進室からの感染拡大防止要請、国土交通省及び徳島県から、改めてマスクの着用等のガイドラインに基づく感染防止対策の徹底の依頼があり、会員に周知徹底をしている。

102. < 鹿児島県 建設業 >

品確法等の担い手三法の改正を機とした「最低制限価格の引き上げ」、「労務単価の8年連続アップ」、「発注時期の平準化」等が行われ、建設業界を取り巻く環境も少しずつではあるが、改善している。

運輸業

103. < 岩手県 一般乗用旅客自動車運送業 >

新型コロナウイルスが全国的に急増する中、夏場の祭事やイベントが見送られ、お盆帰省にも期待は持てず、再びタクシー利用の低迷が懸念され企業収益は相当厳しい。

104. < 福島県 トラック団地 >

新型コロナウイルスの影響で求職者が増加しているが、運送業界のドライバー確保にはつながっておらず、今もなお人員不足である。

105. < 東京都 港湾運送業 >

6月の東京港の輸出入動向は金額ベースで輸出は30%弱の減少となった。輸入は全般的に改善傾向で4.7%の増加となった。コンテナ取扱いは若干改善しているものの依然として厳しい状況が続いている。

106. < 山梨県 道路旅客運送業 >

新型コロナウイルス第二波と見られる影響で再び乗客が減少している。GoTo トラベルキャンペーンが始まったが今のところ効果が無い。収入が不安定であるため、若い乗務員の退職者が増えてきている。

107. < 高知県 一般貨物自動車運送業 >

新型コロナの影響による物量が元に戻ったとは言えず、第二波ともいえる感染拡大の影響を懸念している。更に燃料価格が上昇しており経営を圧迫している。

108. < 熊本県 一般貨物自動車運送業 >

自動車関連は8割位の戻りである。生活食品は良いが贅沢品は動きが悪い。学校給食延長のため生乳が不足しており関西方面への便がない。長雨の影響かアイス配送が少ない。相変わらずの人出不足である。

その他の非製造業

109. < 宮城県 不動産 >

賃貸マンションは、住み替えやブライダルシーズンを先取りした問い合わせが多い。オフィス賃貸も低空室率を維持し、賃料相場も堅調に推移している。

110. < 神奈川県 不動産 >

大手は来客予約制とオンライン接客を導入している。市場環境が大きく変わり、非対面での接客が多くなり、地場の不動産会社は IT 化が遅れており、IT 化に対応できる人材育成が急務になっている。

111. < 兵庫県 物品賃貸業 >

4・5 月は、保育園、デイサービスなどの休園などがあり、売上の減少があったが 6 月は回復してきた。一方で、コロナ対策の為の動線設定や、環境設定にコストがかかり、利益は大幅減少している。

112. < 兵庫県 社会福祉・介護事業 >

福祉施設は夏休み、帰省等による面会においても、規制をせざるを得ない状況となっている。職員においても注意喚起をはじめ、施設の職員状況報告等日々の状況変化に対応する体制を整えている。

113. < 岡山県 信用組合 >

全国的に新型コロナウイルス感染が拡がり、岡山県内でも感染が広がっている。無利息融資のみならず、持続化給付金や家賃支援給付金などの補助金についても提案し、組合員の資金繰り支援に努めている。

114. < 福岡県 貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関 >

新型コロナウイルスの助成金、給付金や無担保無利子の貸付金により組合員の貸付金の返済が急激に増え、貸付残は年初に比べ 30~40%減少している。個人消費の落ち込みにより新規貸付も激減している。